

令和2年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会事業報告

【会務の運営】

1. 正副会長会（開催場所：見附市保健福祉センター）

- (1) 第1回正副会長会（5月19日火曜日）
 - ① 令和元年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会事業報告について
 - ② 令和元年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会資金収支決算について
 - ③ 第1回理事会及び定時評議員会の開催について
- (2) 第2回正副会長会（3月2日火曜日）
 - ① 第5回理事会及び臨時評議員会の開催について
 - ② 令和3年度介護事業について

2. 監事会（開催場所：見附市保健福祉センター）

- (1) 監事会（5月26日金曜日）
 - ① 令和元年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会事業報告について
 - ② 令和元年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会資金収支決算について

3. 理事会（開催場所：見附市保健福祉センター）

- (1) 第1回理事会（6月9日火曜日）
 - ① 令和元年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会事業報告の承認について
 - ② 令和元年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会資金収支決算の承認について
 - ③ 定時評議員会の招集について
 - ④ 社会福祉法人見附市社会福祉協議会常務理事業務執行規程の制定について
 - ⑤ 常務理事の勤務体制の変更について
 - ⑥ 職務執行状況の報告について
- (2) 第2回理事会（9月24日木曜日）
 - ① 職務執行状況の報告について
- (3) 第3回理事会（11月12日木曜日）
 - ① 評議員選任候補者の推薦について
- (4) 第4回理事会（12月10日木曜日）
 - ① 令和2年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算について
 - ② 評議員選任・解任委員の選任について
 - ③ 理事候補者の選定について
 - ④ 臨時評議員会の招集について
 - ⑤ 職務執行状況の報告について
- (5) 第5回理事会（3月16日火曜日）
 - ① 令和2年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会第2次資金収支補正予算について
 - ② 令和3年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会事業計画について
 - ③ 令和3年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会資金収支予算について
 - ④ 職員給与支給規程の一部を改正する規程の制定について
 - ⑤ 介護パート職員就業規則の一部を改正する規則の制定について
 - ⑥ 役員賠償責任保険の加入について
 - ⑦ 常務理事の選定について
 - ⑧ 職務執行状況の報告について

4. 評議員会（開催場所：見附市保健福祉センター）

- (1) 第1回定時評議員会（6月25日木曜日）

- ① 令和元年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会事業報告の承認について
- ② 令和元年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会資金収支決算の承認について
- (2) 第1回臨時評議員会（12月22日火曜日）
 - ① 令和2年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算について
 - ② 理事の選任について
- (3) 第2回臨時評議員会（3月25日木曜日）
 - ① 令和2年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会第2次資金収支補正予算について
 - ② 令和3年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会事業計画について
 - ③ 令和3年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会資金収支予算について

5 評議員選任・解任委員会（開催場所：見附市保健福祉センター）

- (1) 第1回評議員選任・解任委員会（11月12日木曜日）
 - ① 評議員の選任について

6 事業運営委員会（開催場所：見附市保健福祉センター）

- (1) 第1回事業運営委員会（2月9日火曜日）
 - ① 令和3年度地域福祉事業について

【事業実績】

1. 広報・啓発（事業使用額 171,875円）

社協だよりの年5回の発行（発行日：6月19日、8月7日、10月2日、12月4日、3月19日）およびホームページを通じて地域福祉に対する広報活動に努めました。

2. 地域福祉活動支援

(1) 地域福祉活動支援事業（事業使用額 3,068,123円）

① ふれあいいいきサロン事業

自宅に閉じこもりがちな高齢の方や地域内で孤立しがちな障がいをお持ちの方や子育て中の方をはじめ、様々な住民同士が身近なところでつながりあえる場としてサロン事業の展開に努めました。

○開催状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	976回	972回	573回
参加者数	8,765名	11,410名	7,176名

○令和2年度各地区開催状況

地区	団体数	開催回数	延べ参加者数	サロン名
今町町部地区	1	3回	71名	ふれあいいいきサロン（3回）
今町田園地区	1	2回	70名	ふれあいいいきサロン（2回）
葛巻地区	10	102回	903名	葛巻健康サロン（41）、PCカフェ（20）、鶴寿会寿カフェ（8）、手話の会（8）、みんなのお茶の間（7）、葛巻鶴寿会（5）、傍所町歴史研究会（4）、柳和会婦人部（3）、宝寿会（3）、親水クラブサロン（3）
新潟地区	1	86回	356名	地域の茶の間・ほっとサロン（86回）
北谷南部地区	3	82回	1,048名	地域のお茶の間（69回）、椿澤の茶の間（10回）、ムラのえんがわ（3）
北谷北部地区	2	13回	149名	カーネーションサークル（7回）、フレン

				ド (6回)
庄川平地区	2	97回	582名	サロン石地っ子 (54)、庄川いきいきサロン踊りの会 (23)、庄川いきいきサロンおとな女子会ことり (19)、庄川いきいきサロン (1)
見附第二小校区	1	6回	98名	やすらぎサロン (6回)
見附町部東地区	6	180回	1,906名	まちなか東ふれあいサロン (128)、南友会 (24)、まちなかシルバー団らん室 (10)、抹茶を楽しむ会 (9)、新町シルバー団らん室 (6)、元気会 (3)
見附町部西地区	12	276回	2,061名	本所親和会 (232)、つくし会 (11)、本所2丁目喜楽会 (7)、昭和町1丁目3区花づくり同好会 (7)、本所2丁目シニアカフェ (5)、本所2丁目盆踊り愛好会 (4)、昭和一 (3)、戸代新田町 (2)、学校町1丁目4区 (2)、本所1丁目町内会 (1)、本所2丁目愛育会 (1)、スマイルサロン (1)
上北谷地区	6	129回	1,521名	盛老会 (43)、ひまわり (33)、本明桑の木会 (19)、鶴嶺会 (17)、ふれあい有志の会 (9)、宮之原町 (8)

② 見守り事業

地域で安心して暮らせるまちづくりを目的に、地域住民が主体となって取り組む高齢者、障がい者等の見守り活動へ助成を行います。令和2年度は地域コミュニティ1ヶ所から申請があり、助成を行いましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い助成事業は中止となりました。

○実施状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
コミュニティ	1か所	1か所	1か所

○令和2年度実施状況 ※ 新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

	令和2年度
コミュニティ	1か所 (北谷南部地区)
実施事業名	見守りに関するネットワークづくり研修
事業内容	「自分たちのまちは自分たちで守る」を意識して、担い手の育成を行い、見守り活動が始めていくことを目的に「町内の見守りをどうやればできるのか？安全で安心なまちをつくるには？」という内容を主題に講師を招き、研修を開催する。

③ 地域課題解決事業

地域における課題に対して、地域住民が主体となって解決に取り組むコミュニティ活動へ助成を行います。令和2年度は申請がありませんでした。

○実施状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
コミュニティ	0か所	1か所	0か所

④ 地域交流事業

歳末時期において、住民同士のつながりづくり等を目的に、地域住民が地域や世代、障がいの有無に関わりなく、誰もが地域の一員として参加できる活動やイベント等に取り組むコミュニティに対して助成を行いました。

○開催状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
コミュニティ	4か所	7か所	6か所
参加者数	477名	1,398名	1,363名

○令和2年度各地区開催状況

地区	開催回数	参加者数	事業名
今町田園地区	3回	51名	地域交流事業（講座・交流会）
葛巻地区	1回	167名	イルミネーション点灯式
北谷南部地区	1回	159名	みつばイルミネーション2020
庄川平地区	1回	100名	冬のお楽しみ会・キャンドルナイト

3. 地域福祉サービス

(1) ふれあい昼食会の開催（事業使用額 0円） ※ 新型コロナウイルス感染症の影響で中止

地域社会から孤立しがちな70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、会食を通して、参加者同士のつながり・交流を深めていただき、活力ある生活を送っていただくことを目的に昼食会を開催しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止としました。また、令和2年度を以て事業は終了しました。

○開催状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加者	中止	291名	286名

(2) 在宅介護者の集い開催（事業使用額 0円） ※ 新型コロナウイルス感染症の影響で中止

在宅で家族の介護をされている方を対象に、日頃の介護疲れを癒していただき、また介護者同士の交流を図っていただくことを目的に、在宅介護者の集いを開催しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止としました。

対象者
要介護1以上の認定を受けている高齢者の介護者
身体障害者手帳所持者でその障害の程度が1・2級の方の介護者
療育手帳所持者でその障害の程度がAの方の介護者

○開催状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加者数	中止	123名	139名

(3) プライベートサービス事業（事業使用額 120,000円）

視覚に障がいをお持ちの方への情報提供サービスとして、音声訳ボランティア「見附音声訳朋の会」、点訳ボランティア「めぐみ会・見附点クラブ」の方々の協力により事業を実施しました。

音声訳CDについては、「広報見附」、「社協だより」、「見附新聞」等を中心に、点字翻訳については、「広報見附」を中心に提供しました。

○利用状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
音声訳CD利用者	8名	8名	8名
点字翻訳利用者	1名	1名	1名

(4) 小型リフト付バス貸出事業（事業使用額 211,233円）

車椅子を使われている方や自立での歩行が難しい方のうち、普通車両での移動が難しい方に対し、病院への通院、施設からの一時帰宅、家族との外出などにおいて、小型リフト付バスの貸出を行いました。

○貸出状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
延べ登録者数	99名	90名	83名
稼働回数	75回	61回	51回

(5) 福祉用具等の貸出

日常生活支援や福祉体験学習での活用を目的に、福祉用具などの貸出を行いました。

○貸出状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
車椅子	20回	20回	16回
CDラジカセ	3名	2名	2名
白杖	なし	1回	なし
アイマスク	なし	1回	なし
高齢者疑似体験教材	1回	3回	1回

(6) 除雪機貸出事業

自力で除雪作業が困難な高齢者世帯、障害者世帯等に対して、無償で除雪作業を行う地域の支援者に対して除雪機の貸出を行いました。

○貸出件数

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
貸出件数	なし	なし	なし

(7) 要援護世帯除雪費事業（事業使用額 845,003円）

年齢や世帯的な状況により、自己の労力及び経済力の両面から自力での除雪が難しい高齢者世帯、障害者世帯、母子世帯等を対象に、1冬期間2回まで1回1万円を上限とし、除雪に要した費用の一部を助成しました。（※ いずれの世帯も収入・課税制限あり）

○助成状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
助成件数	76件	0件	3件
助成金額	745,600円	0円	30,000円

(8) 児童遊具設置修理助成事業（事業使用額 679,934円）

各町内で管理運営を行う児童遊園地における遊具の新設・修繕等に関して、町内の申請に基づき必要経費の8割を補助しました。（補助金額上限あり：新設25万円、修繕15万円、ペンキ3万円）

○補助状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
新設町内	3町内 助成額 671,000円	5町内 助成額 1,146,000円	2町内 助成額 500,000円
修繕町内	なし	なし	4町内 助成額 327,000円
ペンキ支給町内	なし	1町内 助成額 17,000円	2町内 助成額 21,000円

(9) 社会福祉普及校指定事業（事業使用額 573,356円）

福祉に対する意識を深め、「福祉のまちづくり」の素地づくりを目的に、市内の小・中学校ならびに特別支援学校を社会福祉普及校に指定し、各校の社会福祉の学習や実践等に対し、支援を行いました。

○令和2年度指定校

中 学 校	見附中学校・南中学校・西中学校・今町中学校
小 学 校	見附小学校・名木野小学校・新潟小学校・葛巻小学校 田井小学校・見附第二小学校・今町小学校・上北谷小学校
特別支援学校	見附特別支援学校

○各校の取り組み

見附中学校	特別支援学級における視覚支援の充実のための教室環境の整備
西中学校	青少年ボランティアバンク活動、募金活動、エコキャップ運動、ベルマーク運動
見附小学校	全校花いっぱい活動、学校行事における地域の方との交流
名木野小学校	緑化活動、募金活動、校内外のボランティア活動への参加
新潟小学校	学校行事における地域の方との交流、緑化活動、学校の森での活動充実
葛巻小学校	地域の方を講師に迎えた体験活動、募金活動、くずまきの森の植栽活動
田井小学校	地域の方との交流活動、緑化活動、緑の少年団活動、図書室の整備
見附第二小学校	リサイクル活動の実施、緑化活動、地域の方との交流活動
今町小学校	互いの良さや頑張りを認め合う「ぼかぼかの木作戦」の実施、総合学習
上北谷小学校	学校行事や地域行事での地域の方との交流
見附特別支援学校	小学部校外学習、学習環境における医療的ケアの整備

※ 南中学校と今町中学校は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い取り組み実績なし

(10) 不要入れ歯リサイクル（日本ユニセフ協会支援協力事業）

不要の入れ歯等の回収を行いました。市民の皆さんより不要入れ歯等をお寄せいただき、リサイクルによる収益のうち半分を、日本ユニセフ協会を通じて世界の恵まれない子どもへの支援へ、残りの半分の収益を、障がいをお持ちの方の就労支援を実施している「風来人（ネーブルみつけ内）」への助成をはじめ、市内の地域福祉に活用いたしました。

○回収状況及び収益

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
回収入れ歯数	38 個	68 個	40 個
回収による収益金	37,163 円	32,361 円	33,404 円

(11) バイオディーゼル燃料の活用（就労移行支援事業所通所者支援事業）

障害者福祉サービス事業所みつけワークスで廃食用油を活用し精製されたバイオディーゼル燃料を、当会の小型リフト付バスの燃料として活用いたしました。この事業を通して障害者福祉サービス事業所通所者の工賃安定等の支援につながりました。

○使用状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
使用量	288 ㍓	144 ㍓	216 ㍓

(12) 生活支援サービス（事業使用額 418,672 円）

公的なサービスだけでは対応が難しい日常生活上の困りごと（ゴミ出し、掃除、買い物代行、話し相手など）に対して、地域住民が担い手となりお手伝いする有償の生活支援活動に取り組みました。また、担い手の養成も行いました。

○活動状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
延べ利用会員数	105 名	94 名	90 名
活動件数	643 件	665 件	627 件
活動時間	372 時間	396 時間	423 時間

○養成研修開催状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	3回	2回	2回
修了者	18名	21名	18名

(13) 地域の居場所づくり事業（事業使用額 839,821円）

住民誰もが気軽に集える居場所として「まちの縁側・ほんまち」を運営し、住民同士の新たなつながりや助け合い・支え合いができる拠点づくりを目的に事業を実施しました。

○開設状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開設日数	79日	99日	92日
利用者数	188人	525人	460人
活動者数	192人	191人	228人

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い休館措置や時間を短縮して開設しました。

(14) 相談援助実習の受入

福祉分野における担い手を目指す学生等の学びの受け皿として、社会福祉士資格取得に向けた実習の受け入れを行っています。

令和2年度は大学側から新型コロナウイルス感染症の影響で実習中止の申し出があり、受け入れ中止となりました。

○学生の受け入れ

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受け入れ人数	なし	2名	1名

(15) 歳末見舞い事業（事業使用額 940,544円）

歳末たすけあい募金の配分金を用いて、75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、見守りも兼ねて見舞品を贈呈しました。

○見舞品の支給（1,000円相当の品）

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
見舞品支給件数	755件	754件	717件

(16) 24時間テレビ「愛は地球を救う」チャリティ・キャンペーン

社会福祉施設及びボランティアグループなどへ福祉車両等を寄贈し、福祉の充実を図るとともに、国内の災害ならびに開発途上国への医療・食糧等の援助、また地球環境保護支援を目的に実施されるチャリティ募金の実施に協力しました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から新潟県内では募金会場での街頭募金は実施せず、見附市においては見附市保健福祉センターに募金箱を設置しての実施となりました。

○募金額

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
募金実績額	185,849円	317,735円	369,115円

(17) 紙おむつ券給付事業（市受託事業 事業使用額 17,975,621円）

経済的な負担軽減を図ることを目的に、在宅生活者のうち、常時紙おむつを使用している要介護認定を受けた方や障害をお持ちの方に対し、紙おむつ券を968名に給付しました。

○給付者数

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
要介護1・2 (年額 10,000 円支給)	551 名	531 名	524 名
要介護3～5 (年額 24,000 円支給)	391 名	396 名	433 名
障害者 (年額 20,000 円支給)	26 名	25 名	18 名

(18) 介護支援ボランティア (市受託事業 事業使用額 156,505 円)

高齢者の社会参加や地域貢献、そして、自身の健康増進や介護予防を図ることを目的に、介護保険第1号被保険者の方を対象に、介護施設等でのボランティア活動に対してポイントを付与する介護支援ボランティア制度の管理運営を行いました。

○ボランティア登録等

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
延べ登録人数	87 名	85 名	75 名
活動時間	73 時間	1,039 時間	1,066 時間

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い令和2年5月頃から介護施設におけるボランティア受付ができない状況にあります。

(19) 生活支援体制整備事業 (市受託事業 事業使用額 2,195,661 円)

地域包括ケアにおいて、高齢者に対する生活支援・介護予防の充実が求められる中、多様な主体による生活支援サービス等の重層的な提供体制の構築を目指し、生活支援コーディネーターが生活支援体制推進協議会の構成団体等のつながりを活かしながら、高齢者の居場所や移動支援をテーマに、地域における高齢者の生活支援等の取り組みを進めました。

○生活支援体制整備推進協議会の開催

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催状況	2回 (9、3月)	1回 (9月)	2回 (9、3月)

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から書面送付のみとしました。

(20) 地域活動支援センター事業 (市受託事業 事業使用額 6,205,987 円)

障がいによって就労などが難しい方の日中の居場所として、創作的活動や社会との交流促進の機会を提供することで、事業利用者の自立生活の推進及び社会参加を図ることを目的に事業を実施しました。

○登録及び利用状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
延べ登録者数	110 名	106 名	103 名
利用者数	1,645 名	2,566 名	2,759 名

4. 各種相談支援

(1) 日常生活自立支援事業

認知症や知的障害、精神障害などを理由に判断能力が十分でない方のうち、日常生活上で必要となる福祉サービスの利用手続きや利用料の支払い等において不安のある方に対し、福祉サービスの利用援助を中心に、必要に応じて金銭管理サービスや書類等の預かりサービスの提供も含め、利用者の地域での生活を支援しました。

○利用状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	1 名	1 名	3 名
相談件数	8 件	5 件	1 件
生活支援員実働者数	1 名	1 名	2 名

(2) 貸付制度の運営

低所得世帯をはじめ、高齢者世帯や障害者世帯を対象に相談援助活動を行い、新潟県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付の受付窓口としての機能を果たすとともに、生活保護の申請者のうち保護受給が見込まれる方を対象に、保護費初回給付までの援護を目的として資金貸付を実施しました。

従来からの生活福祉資金貸付の貸付実績はなかったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による減収や失業等により生活に困窮し、生活の維持が困難となっている世帯を対象とした特例貸付の相談・受付窓口としての機能も果たしました。

○たすけあい資金貸付の実績（貸付額上限1万円 無利子）

平成30年度貸付額	1件	10,000円
令和元年度貸付額	0件	0円
令和2年度貸付額	4件	40,000円

○新型コロナウイルス特例貸付の実績

緊急小口資金	71件	11,900,000円
総合支援資金	14件	6,546,000円

※ 上記は、制度開始（R2.3.25）から令和2年度末までの実績となります。

(3) ぐらしの自立支援センターみつけの運営（市受託事業 事業使用額 11,806,494円）

生活困窮者が抱える複合的な課題に対し、包括的な相談支援を行い、個々の生活困窮者の状況に応じ、居住、就労、家計等の相談援助に努めました。また、生活困窮者の支援に限らず広く相談を受け付け、案件に応じた情報提供や相談窓口・福祉関係者等へのつなぎも行いました。

○相談受付状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談件数	88件	59件	69件
相談時間	416時間	312時間	572時間

○相談内容

令和2年度					
健康	39件	就職	53件	ひきこもり	1件
住まい	39件	就労	33件	D V	5件
生活費	48件	地域	2件	食糧	12件
家賃	11件	家族	44件	その他	8件
公租公課	7件	子育て	20件	合計	338件
債務	14件	介護	2件		

○支援状況

事業名	令和2年度	令和元年度	平成30年度
自立相談支援事業（就労支援）	21件	4件	7件
家計相談支援事業	3件	2件	1件
就労準備支援事業	1件	1件	5件
住居確保給付金	4件	0件	0件
合計	29件	7件	13件

○生活困窮者支援調整会議の開催

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催状況	5回（6、7、8、12、3月）	3回（8、12、3月）	3回（9、12、3月）

5. 援護事業

(1) 災害見舞金給付事業

火災及び雪害による被害を受けた世帯に対し、御見舞金を支給しました。

○見舞世帯数

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
家屋全焼	2世帯(20,000円)	1世帯(10,000円)	3世帯(30,000円)
家屋半焼	1世帯(5,000円)	なし	1世帯(5,000円)

(2) 法外援護

旅費として、JR見附駅から長岡方面（長岡駅まで）もしくは新潟方面（東三条駅まで）へのJR乗車券を支給しました。

○支給人数

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支給人数	1名	3名	10名

6. 各福祉団体との連携協調

(1) 見附市民生委員児童委員連絡協議会との連携協調

見附市民生委員児童委員連絡協議会の活動に対して助成を行うと共に、下記の事項を中心に協力依頼し、見附市民生委員児童委員連絡協議会との連携協調に努めました。

○見附市社会福祉協議会実施の各種事業に対する協力依頼

○生活福祉資金貸付世帯に対する生活指導

○共同募金（法人・大口）の協力依頼

(2) 福祉関係団体の自主的活動への運営協力

① 事務局運営を中心とする運営協力

見附市母子福祉会の活動に助成を行い事務局としてその運営に協力すると共に、見附市老人クラブ連合会の事務局として運営に協力しました。

② 福祉関係団体の自主的活動への助成の実施

保育事業研究会、手をつなぐ育成会の活動に対して助成を行いました。

7. 介護事業等の運営

(1) 介護保険制度に基づく事業

介護保険制度における居宅介護支援事業、訪問介護事業ならびに障害者総合支援法における障害福祉サービス事業の運営に努めました。

① 居宅介護支援事業

介護支援専門員が、在宅で介護を必要とする方や家族の相談に応じ、心身の状況や要望を取り入れた居宅サービス計画を作成し、居宅において自立した生活が送れるように支援しました。

○利用者数

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
介護予防サービス支援計画作成者	31名	35名	30名
居宅サービス計画書作成者	88名	79名	69名

② 訪問介護事業

訪問介護員が自宅を訪問し、介護計画などに基づき身体介護（入浴・排泄・食事等）や生活援助（調理・洗濯等）の訪問介護サービスを提供し、家庭での生活を支援しました。

○利用者数

	令和3年3月	令和2年3月	平成31年3月
事業対象者・要支援サービス利用者	28名	31名	25名
要介護サービス利用者	36名	35名	32名

(2) 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法に基づき、障害をお持ちの方の生活を支援するために居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援、生活サポート等の障害福祉サービスを提供しました。

○利用者数

	令和3年3月	令和2年3月	平成31年3月
サービス利用者	12名	9名	14名

8. 地域保育園の運営 (市指定管理事業 111,674,255円)

見附市の指定管理制度に基づき、社会福祉法人人と緑の大地と共同で和楽保育園(田井町)、漆山保育園(漆山町)、反田保育園(反田町)、坂井保育園(坂井町)の運営を担いました。

保育園と家庭、そして地域が連携し、心身ともに健やかな子どもの成長を育むことを目的に日々保育に努めました。

○主な催し物

入園式、こどもの日お楽しみ会、七夕まつり、遊戯発表会、作品展示会、芋掘り、鏡開き、新年お楽しみ会、豆まき、ひな祭り会、卒園式 など

※ 催し物の呼称は各園により異なります。

○園児数(令和3年3月)

	未満児	年少児	年中児	年長児	令和2年度	令和元年度	平成30年度
和 楽	4名	4名	6名	6名	20名	17名	14名
漆 山	12名	12名	9名	7名	40名	42名	44名
反 田	8名	8名	5名	11名	32名	36名	39名
坂 井	1名	2名	6名	9名	18名	25名	26名
合 計	25名	26名	26名	33名	110名	120名	123名

○延べ園児数

	令和2年度		
	未満児	以上児	合計
和 楽	43名	192名	235名
漆 山	134名	336名	470名
反 田	97名	287名	384名
坂 井	12名	204名	216名
合 計	286名	1,019名	1,305名

※ 以上児とは年少、年中、年長を合わせた区分です。

9. 会員会費制度・赤い羽根共同募金運動

会員会費制度については、各種福祉サービス・事業の貴重な自主財源となることから、例年に準じて市民の皆様からご協力をいただき、住民が主体的に取り組む福祉活動をはじめ、各種社会福祉事業の財源として使用しました。

赤い羽根共同募金運動の配分金は各種福祉サービス・事業の貴重な自主財源となることから、例年に準じて広く運動を展開しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、法人・大口募金においては振込用紙を活用した方法と例年に準じ民生委員児童委員に訪問していただく方法を組み合わせて実施しました。

赤い羽根募金は新潟県共同募金会を經由し、配分計画に基づいて令和3年度に配分されます。歳末募金は令和2年度の歳末見舞い事業の財源を中心として使用されます。

また、赤い羽根共同募金運動における新潟県独自の試みとして、令和3年1月1日から令和3年3月31日までの3ヶ月間を運動期間とする「あったか雪募金」を行いました。ご協力をいただいた募金は、令和3年度に実施される克雪対策事業の財源として配分されます。

(1) 会員会費制度

○収納状況

(単位：円)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
会費収納額	3,460,721円	3,485,598円	3,519,768円

(2) 赤い羽根募金、歳末たすけあい募金

○結果一覧表

(単位：円 %)

		令和2年度 実績	令和元年度 実績	前年比		備考
				金額	率	
赤い羽根共同募金運動	戸別募金	3,495,415	3,548,156	△52,741	98.5	
	法人・大口募金	1,018,852	1,454,961	△436,109	70.0	
	職域募金	163,684	201,025	△37,341	81.4	市役所、関係機関
	学校募金	275,370	269,193	6,177	102.3	学校、保育園、幼稚園
	その他	168,606	231,415	△62,809	72.9	老人クラブ、募金箱
	歳末募金	2,443,562	2,496,126	△52,564	97.9	
募金総額		7,565,489	8,200,876	△635,387	92.3	

○目標に対する比較増減

(単位：円 %)

募金種類	令和2年度募金 目標額	令和2年度募金 実績額	比較	達成率
赤い羽根募金	6,577,000	5,121,927	△1,455,073	77.9%
歳末たすけあい募金	2,350,000	2,443,562	93,562	104.0%

(3) あったか雪募金結果

見附市におきましては、市内法人・事業所様を中心に募金活動へのご協力をお願いして参りました。

○収納状況

(単位：円)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
募金総額	144,913	130,000	169,151

10. その他

(1) 第70回新潟県民福祉大会への参加

○開催状況 ※ 新型コロナウイルス感染症の影響で1日のみの開催。

期日・開催地	内容
10月14日 新潟市	式典・記念講演 会場：新潟テルサ 第1部 式典 第2部 記念講演 講師 藤田 紘一郎 氏（東京医科歯科大学名誉教授） 演題 「イキイキ長寿健康法-免疫力を高める生活習慣-」 参加者：7名